



《全日本中学校長会》 令和7年11月4日（火）

## 11月 会長メモ

会長 青海 正



香川県高松市 栗林公園

日本の「夏の期間」が1982～2023年の42年間で約3週間長くなっていたことが、三重大グループの研究で分かったという新聞報道が数社でありました。「冬の期間」はほぼ変わらず、春と秋が短くなり「二季化」している。夏の期間は年々、日数が増加傾向にあり、「地球温暖化」による海面水温の上昇が主要因で温暖化が続けば長い夏と冬の二季化がより進むことになる」と警鐘を鳴らしていました。

### 中央教育審議会 教師を取り巻く環境整備特別部会の緊急声明案について

あべ俊子・前文部科学大臣は、10月17日の定例記者会見で、15日に開かれた中央教育審議会「教師を取り巻く環境整備特別部会」で議論された緊急声明案について言及しました。声明案では、中学校35人学級の実現に向けた義務標準法改正の推進や、スクールカウンセラー・ソーシャルワーカー等の支援スタッフの充実を求めており、必要な予算の確保に向けて全力を尽くす姿勢を示した。会見では、特別部会での議論を踏まえ、現場で実効的な改革を進めるための体制整備を速やかに進めることを強調、緊急声明案は改革の流れを加速させるための提言として受け止めていると述べ、次期政権や国会への要望とは切り離して対応する姿勢を示しました。その後、文部科学省は10月22日、松本洋平・新文部科学大臣の就任記者会見を行いました。就任後初の会見で、現場の声を踏まえ「手触り感のある行政」を進める姿勢を打ち出しました。教育分野では、人づくりを国家基盤と位置付け、現場の課題解決とともに子供の可能性を伸ばす環境整備に注力する考えを明らかにしました。ご自身の幼少期の体験を踏まえ、教師が果たす役割の大きさに言及し、働きやすさ・やりがいの向上を含む教員環境の整備を推進する考えを示しました。政策課題では、学校給食無償化について、与党合意に基づき2026年4月からの小学校給食無償化の実施に向けて制度設計を進めると説明し、中学校給食の無償化については、今後の与党協議の動向を見ながら検討する意向を述べました。（会見より抜粋要約）

### 令和7年度 教育関係23団体全国集会について

10月28日（火）17時半から参議院議員会館講堂において、全日中や全連小、全高協、日本PTA全国協議会など教育関係23団体が集い「子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現のための学校における働き方改革及び指導・運営体制の充実等を求めるアピール」採択のための全国集会が開催されました。全日中からも、17名の方々にご参加いただきました。出席者は、主催者を含む教育関係者や各党代表国会議員、報道等を含め約300名で、松本洋平・新文部科学大臣も会場に駆けつけ、力強い挨拶をしてくださいました。司会を全日中の田井総務部長が務め、同アピールは満場一致で採択されました。後日、予算対策部・給与対策部が参加の各議員への御礼挨拶と欠席され

た議員への説明を行う予定です。

**第 76 回全日本中学校長会研究協議会香川大会について**

去る 10 月 23 日（木）、24 日（金）の 2 日間にわたり、瀬戸の都・香川県高松市において開催された全国大会が無事成功裡に幕を閉じました。

大会一日目、開会式に続く文部科学省説明では、文部科学省初等中等教育局主任視学官 田村 学様 から、「当面する初等中等教育上の諸課題」と題し、次期学習指導要領に向けた検討について、中央教育審議会企画特別部会の審議を踏まえ、9 月にまとめられた今後の議論のポイントを示した「論点整理」を用いて、構造化、柔軟、探求、評価、活用・発揮を切り口とした、全日中の大会でなければ伺えない、田村主任視学官ならではの説明がありました。全体協議会では、第 1 研究協議題「誰一人取り残されない一人一人を大切にしたい不登校対応」～COCOLO プランの効果的な実現を目指して～ と題する全日中提案が柳澤 忠男 教育研究部長より、第 2 研究協議題「自治的な活動を柱とした人間尊重の教育」～多様な他者との協働を通して磨く相互承認の感度～ と題する地区提案が伊達 峰史 校長（札幌市立美香保中学校）から報告していただきました。校長の学校経営や環境づくりの重要性を改めて感じる事ができた提案でした。午後に行われた分科会は、レクザムホール、高松シンボルタワー及びサンポートホール高松の 3 会場に分かれ、各学校における貴重な実践を発表していただきました。8 分科会での熱のこもった研究協議が展開され、いずれも全日中新教育ビジョンとの関連は強く、これからの中学校教育にとって、とても参考となるものでした。

二日目のアトラクションでは、高松市出身のサヌカイト奏者 小松 玲子 様による、癒される「LOVE LETTER」の演奏に、穏やかなひとときを過ごしました。音の鳴る石「サヌカイト」は、世界中でも香川県以外殆ど採れないとても希少な天然鉱石です。削ったり磨いたりすることで、音色が変わり、水晶と同じ硬度 7 で叩くと妙音を発して、シータ波により癒し効果をもたらされます。そして最後の記念講演は、「AI の最新動向と今後の展望」と題し、坂出市出身の東京大学大学院工学系研究科教授 松尾 豊 氏 による講演が行われました。OpenAI が発表した動画生成モデルをはじめ、新モデルのリリースが相次ぎ、推論能力が大幅に向上しました。「推論のスケール則」という概念が広まり、計算量の増大によってより高度な推論が可能になることが知られるようになっていきます。こうした中で AI 活用と法整備の両立がより重要になる中、リスクを踏まえつつ開発・活用を社会全体で進める姿勢が求められています。変わるものと変わらないものが共存する現代にあって、未来への夢や希望を感じさせるご講演でした。本大会の開催に向け、長い期間にわたり企画・準備をいただき、大会の中心となって運営していただいた香川県中学校長会会長であり大会実行委員長の 北岡 隆 校長先生をはじめ、香川県中学校長会、中国・四国地区中学校長会の皆様に改めて深く感謝申し上げますとともに、全日中各理事、部長会及び各部幹事の皆様に感謝申し上げます。

**各教育関連団体の活動について**

10 月に各教育関連団体等の活動について、以下のとおり参加しておりますので参考までに紹介させていただきます。

名 称	開催日	
第 13 回中学生作文コンクール生保作文最終審査会	10 月 7 日（水）	会長
中教審教育課程部会 総則・評価特別部会（第 2 回）	10 月 14 日（火）	会長
教師を取り巻く環境整備特別部会	10 月 15 日（水）	会計部長
中教審初等中等教育分科会（第 152 回）	10 月 20 日（月）	会長
第 40 回時事通信社教育奨励賞表彰式	10 月 27 日（月）	会長
教育関係 23 団体全国集会（参議院議員会館）	10 月 28 日（火）	会長、関係部長、幹事等
河合 純一・新スポーツ庁長官との懇談（オリンピック・スクエア）	10 月 29 日（水）	会長